

第 17 回「市長と語るタウンミーティング」を開催しました

1 日 時 令和 7 年 11 月 26 日（水） 午後 4 時～

2 場 所 善通寺市役所 4 階 404 号室

3 参加者

市内の小学校・中学校から代表者を各 1 名ずつ 計 10 名

4 会議の概要

【テーマ】住んでみたい 住みつづけたいまち 善通寺 ～未来の善通寺～

1. 開会

2. 主催者挨拶

3. 参加者紹介

4. タウンミーティング

5. 閉会

5 いただいたご意見

小学生のご意見

① ボール遊びができる場所

・ボール遊びができる広い場所が近くにないため、友達や家族でボール遊びができる広い場所が欲しい。このような場所があれば、外で遊べる環境が整い、子育てがしやすくなるとともに、善通寺で子育てをしようとする人々が増えるのではないかな。

・ボール遊びができる場所が増えれば、子どもたちがゲームや SNS に費やす時間を減らすことができるのではないかな。さらに、校区内にそのような場所があれば、家族で気軽に遊びに行けるようになり、普段あまり遊ぶことのない他学年の子どもたちとも交流する機会が増え、良い効果が期待できると思う。

② 旅館の増設

・お遍路さんなどが泊まれる旅館が増えることで、観光客を集めやすくなるのではないか。また、空き家や古い建物を活用してカフェや旅館に改装すれば、人々が集まり、まちが賑やかになると思う。

③ 誰もが笑顔になれる善通寺市

・市民一人ひとりの願いや思いを大切に、全員が安心して暮らせるまちをつくりたいと考えている。そのためには人と人との繋がりを重視し、幅広い世代が交流できる機会を増やすことが重要。

・まちづくりにおいては、大人だけでなく子どもたちも意見を言えるような環境が整うことが望ましい。

④ 認知度アップ

・テーマパークがあれば、善通寺市を訪れる人が増え、空き地などにホテルを建設することで経済の活性化が図れると考えられる。また、他市町や他県の人々にも善通寺市を知ってもらい、訪れてもらうきっかけになるのではないかと期待できる。

⑤ 安全に登下校できるまちづくり

・校区が広いため、片道 40 分から 50 分をかけて登下校している児童がいる。また、登下校のルートには、見通しの悪い住宅の曲がり角や、暗くて交通量の多い高速道路の高架下、道幅が狭く川に転倒する危険性がある川沿いの道など、危険な箇所がいくつも存在している。

・児童が安全に登下校できるよう、次の対策をお願いしたい。一つ目は、カーブミラーの設置、二つ目は歩道と車道を分けること、三つ目は街灯やライトの設置による事故防止や不審者対策、そして最後に横断歩道の設置である。このような対策を講じ、誰もが安全に登下校できる環境を整えてほしい。

⑥ ドッグランやドッグカフェといった施設

・犬が好きで犬を飼っているが、近くに犬を遊ばせる施設がなく、広い場所で思いっきり走らせてあげたいと考えている。また、親が仕事で忙しく、犬と一緒に外出できる機会が少ないため、犬も含めた家族全員で出かけることができる施設があれば良いと思う。例えば、ドッグカフェがあれば、犬を見守りながら家族と色々な話をし、さらに飲食も楽しめる。また、ドッグカフェに子どもが遊べる遊具を設置すれば、小さな子どもや赤ちゃんも安心して遊べ、子育て中の親にとっても憩いの場となるのではないか。

小学生のご意見

⑦ 世代間交流ができる公園

・70代の祖母がいるが、日中家の中で過ごすことが多く、運動不足だと思う。外で運動することが健康に良いと思うので、子ども、大人、お年寄りが一緒に集まって、集団で遊んだり体力づくりをしたりできる施設がある公園があれば良い。さらに、公園内にエアコンが設置された施設を用意し、メンコやお手玉、凧作りなどの遊びをお年寄りに教えてもらうことができれば、世代間の交流も深まるのではないかな。

⑧ 「観光」視点から善通寺市をより良いまちにするための提案

・善通寺市を訪れる人々に楽しんでもらうために、次の3つの提案がある。

1. ストリートピアノとシャッターアート

ストリートピアノは単に設置するだけでなく、香川県出身のアーティストによる演奏イベントを開催することで、地域の魅力を引き出すことができる。また、シャッターアートには、市内の幼稚園児から大学生までが参加し、地域の人々が手掛けることで、訪れる人々の関心を引き、足を運んでもらえるきっかけになるのではないかな。

2. 市にある資源を活かした施設の整備

例えば、空き家を利用して、空海をテーマにした空き家アートを展示したり、自然の中にアスレチック施設を作ったりすることで、市内の独自の資源を活用し、観光客に新たな体験を提供できる。

3. SNSを活用して善通寺の特産品を広める

SNSを活用し、善通寺市の特産品や地域の魅力を広く知ってもらうことで、より多くの人々に善通寺市を訪れてもらい、地域経済の活性化につなげることができる。

これらの取り組みによって、善通寺市はさらに多くの人々が楽しめる、魅力的なまちになると思う。

中学生のご意見

① 子どもが楽しめるまちづくり

・公園や博物館、ショッピングモールなど、子どもたちが楽しめる施設を整備することにより、子ども連れの家族をはじめ、住みやすさを感じる市民が増えるのではないかな。

② 善通寺市のPR（広報活動）

・善通寺市は空海（弘法大師）生誕の地として知られているが、全国的には空海といえば高野山のイメージが強く、教科書などにも高野山のことが記載されている。そのため、空海が善通寺市出身であることや、まちの歴史を広く伝える取り組みが必要。例えば、駅前やインターチェンジ周辺が寂しい印象を与えているため、「ようこそ弘法大師空海の故郷へ」といった看板やポスターを設置することが効果的である。また、駅前に昔ながらの木造建物を増やし、まち全体で歴史的な雰囲気を作り上げてはどうか。

③ 商店街の再開発

・観光客が訪れやすい商店街の再開発が必要である。お土産や軽食が楽しめる店舗を並べ、地域特有の商品を販売することにより、訪れる人々が善通寺市の文化を感じ、記憶に残るようになるのではないかと。これにより、観光客が善通寺市を忘れず、再訪してくれるのではないかと。

④ 体育館の整備

・近年、地球温暖化の影響で異常な暑さが続いており、現在体育館に設置されているスポットクーラーではその対応が十分ではなくなっている。特に8月は体育の授業が実施できない状況が続き、9月に入ってからでも体育館での活動や行事が難しく、体調を崩す生徒も見られた。また、中学校は災害時の避難場所として利用されるが、現状の設備では、酷暑の中で避難生活を送ることは非常に困難である。逆に冬季には隙間風が入り込み、暖房設備もほとんどないため非常に寒い。避難場所としての役割を果たすためにも、また安全で快適に授業や行事を実施するためにも、体育館の冷暖房設備の完備と多目的トイレの設置が強く望まれる。